

事業番号	020601	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
		実施期間	S47 ~	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	観光消費額、健康寿命				
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保		3-7 先端技術の積極的な活用・導入		
	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見				

1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	【目指す姿】 ○持続可能な公共交通の構築 ・広域的、基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。 ・市町村、交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築し、利用者の獲得・定着を図る。 ○営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全安心な輸送の確保 【これまでの取組】 ・地域間幹線バス路線の確保・維持のため、交通事業者の運行欠損費、車両減価償却費を補助金により支援 ・持続可能な交通体系の構築に向けた取組として、既存バス路線の現状・課題を診断するカルテを作成 ・営業用バス・トラックの安全安心な輸送の確保のため、各協会へ助成し支援				
	令和2年度 点検結果 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ・地域交通は生活の足として重要な役割を担っているところだが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化しており、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 ・県内公共交通機関のキャッシュレス対応は一部にとどまっており、利用範囲の拡大等を求める意見が寄せられている。 </td> <td> ・地域交通の最適化の検討を促進するため、バス路線のデータの収集・分析を行いカルテを作成する等、新たな施策も行いながら、引き続き公共交通の継続的な運行確保に努める。 ・県内公共交通機関におけるキャッシュレス決済を推進するため、乗合バス事業者が行う機器導入等に係る費用を支援 </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・地域交通は生活の足として重要な役割を担っているところだが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化しており、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 ・県内公共交通機関のキャッシュレス対応は一部にとどまっており、利用範囲の拡大等を求める意見が寄せられている。
課 題	今後の方向性				
・地域交通は生活の足として重要な役割を担っているところだが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化しており、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 ・県内公共交通機関のキャッシュレス対応は一部にとどまっており、利用範囲の拡大等を求める意見が寄せられている。	・地域交通の最適化の検討を促進するため、バス路線のデータの収集・分析を行いカルテを作成する等、新たな施策も行いながら、引き続き公共交通の継続的な運行確保に努める。 ・県内公共交通機関におけるキャッシュレス決済を推進するため、乗合バス事業者が行う機器導入等に係る費用を支援				

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓地域公共交通の最適化サポート ・地域公共交通ネットワークの再構築を住民にも見えやすい形で取組み、地域公共交通の維持確保を目指すため、既存バス路線の現状・課題を診断するカルテを作成 ・地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画策定に係る費用を支援	 乗合バスにおける キャッシュレス化イメージ ((株)みちのりホールディングスホームページより)
	✓地域公共交通のキャッシュレス化推進 ・乗合バス事業者が行うキャッシュレス機器の導入等に係る費用を支援	
	✓地域間幹線系統の確保維持 ・乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費、車両減価償却費を支援 ・県でバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する事業者に貸与することでバス路線を基盤強化	
		 県有民営バス車両

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度		
1	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	33.2人	33.2人	→ (R3.2予定)	33.2人以上		0	614,863	622,134	要求 643,606	予算案 -
2	営業用トラックの交通事故件数	197件	161件	↑ (R3.3予定)	161件以下	0	614,863	383,860	要求 643,606	予算案 -	
3	(参考指標) 地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率	76.6%	79.3%	↑ (R3.2予定)	-	614,863	1,005,994	599,719	要求 599,719	予算案 -	
4	(参考指標) 長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」の累計ダウンロード数	38,083DL	66,963DL	↑	70,000DL	576,828	576,250	-	要求 -	予算案 -	
5						607,373					
						決算額(B)	607,373				
						職員数(人)	4.0	4.0	4.0		
成果指標設定理由	1 地域間幹線バスの利用者を維持するため、1日当たり輸送量を成果目標に設定 ※目標値：R1年度の実績を維持することを目標に設定 2 営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果目標に設定 ※目標値：R1年度の実績を下回ることを目標に設定										

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金	279,730 千円	284,762 千円	要求 301,467 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金	補助金	地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 【補助想定件数 7件（7者 29系統）、補助総額 199,462千円】
2	地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金	補助金	地域間幹線バスのバリアフリー化、老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 【補助想定件数 3件（3者 17台）、補助総額 19,554千円】
3	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化を図るため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与 【購入想定台数 3台 購入総額 82,451千円】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	運輸事業振興助成補助金	309,040 千円	310,177 千円	要求 310,177 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、長野県バス協会・長野県トラック協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して助成 【補助想定件数 2件（2者）、補助総額 310,177千円】

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
3	公共交通乗換案内サイト構築事業	8,025 千円	6,000 千円	要求 3,468 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	「信州ナビ」の認知度向上のためのSNS等を活用したPR	委託	日常的にバスを利用している10代～30代をメインターゲットに、長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」の利便性等魅力が伝わるような認知度向上施策を実施

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
4	みんなのタクシー利活用促進事業	4,900 千円	4,900 千円	要求 3,600 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	ユニバーサルデザインタクシーの導入補助	補助金	A I 配車やキャッシュレス化等の活性化策を行うタクシー事業者に対してユニバーサルデザインタクシーの導入補助を実施 【補助想定件数 6件（6者 6台）、補助総額 3,600千円】

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 当初予算	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算
5	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	1,114 千円	737 千円	要求 737 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	直接	地域交通の課題解消を促進するため、市町村に対してくらしの足の最適化促進の他、観光交通の充実等多様な連携に対する助言等を行うモビリティアドバイザーを派遣	

細事業 No.	細事業名	R1年度 当初予算	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算
6	地域公共交通最適化推進事業	4,554 千円	4,708 千円	要求 14,157 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	地域公共交通最適化サポート事業	委託	地域交通の最適化にかかる市町村、事業者等の取組を推進するため、地域バス路線のデータ収集・分析を行い、現状・課題を診断するカルテを作成 【カルテ策定広域 3広域(上伊那・北アルプス・長野地域)】	
2	地域公共交通計画策定支援事業	補助金	地域の交通課題の解決に向けた取組が生活圏を意識した区域で着実に進むよう、複数の市町村等で取り組む地域公共交通計画策定に係る費用を支援 【補助想定地域数 3地域】	

細事業 No.	細事業名	R1年度 当初予算	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算
7	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業	千円	千円	要求 10,000 予算案 — 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	公共交通機関におけるキャッシュレス化推進事業	補助金	県内公共交通機関におけるキャッシュレス決済を推進するため、乗合バス事業者が行う機器導入等に係る費用を支援	